

令和5年度 ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立斐伊小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習 の時間	斐伊の魅力伝え隊！	地域振興に尽力している方や地域の歴史に詳しい方、地域の名所
ねらい		ふるさとの歴史等の調査活動や発信活動を通して、ふるさとの魅力や地域づくりを支える人々の願いを共感的に理解し、ふるさとへの愛着や誇りを高める。	

1 取組の概要

- 1) 地域の「歴史マップ」を作成した方に、作成にかかわる思いを聞き、自分たちにできることを話し合う。
- 2) 歴史マップにある地域の名所に行って調査活動をしたり、さらに詳しい方に聞いたりしながら調べたりする。
- 3) グループごとに資料をまとめ、学習発表会で校内向けにふるさとの良さを伝える。
- 4) 斐伊の魅力マップ発表会で、地域の方を対象にふるさとのすばらしさを知らせる。
- 5) 広く一般へ良さを知らせるため、地域各所にQRコードを配布する。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) 地域の多くの「人」から学ぶ機会を意図的に設けることにより、相手意識をもちながら活動できるようにした。
- 2) 身近でありながら、現状のままでは廃れてしまうような学習材(もの・こと)を教材化したことにより主体的に探究していくようにした。

(学力育成の視点から)

- 1) 実際に現地に赴いての調査活動や造詣の深い地域の方に聞き取る活動を通して、自分事として学ぶ意欲や対話力の向上につながるようにした。
- 2) 調べた情報を広く地域一般の方に発信することを念頭に活動を通して、相手意識を大切に資料作りや発表ができるようにした。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) ふるさとのすばらしさを認識し、誇りをもつようになった。
- 2) 多くの人に知らせ、ふるさとのために貢献したいという意欲をもつようになった。

(学力育成の視点から)

- 1) 地域の方に質問したり、要点をまとめたりするなど調査時に必要な、話す・聞く力が付いた。
- 2) 広く地域の方向けの発表会をすることで、表現力が高まった。

4 課題や今後の展望

今年度のような取組を今後も継承していけるように、実践の足跡を残していくことが大切であるとする。

